



岡山県合唱連盟 機関紙

岡山県合唱連盟
機関紙

平成3年10月1日
発行所 岡山県合唱連盟
機関紙編集部

全日本合唱コンクール岡山大会を迎えるにあたって

岡山県合唱連盟副理事長

審査部長 片山 康雄

私は今度で三回目の全国大会を経験することになります。

1回目は野球場のそばにある県立体育館でした。その時、私は宿泊部で旅館の支配人さん達に集まって頂き統一した宿泊費やメニューについて話し合ったのをおぼえています。又、コンクールの閉会式の最後だったと思いますが審査員でおいでになっていた作曲家の磯部淑先生の指揮で先生作曲の“遥かな友に”を会場全体で大合唱をしたのを思い出します。

2回目は武道館の中に特設舞台を組んでのコンクールでした。その時は良くおぼえていませんが、やはり審査部か接待部だったような気がします。でも、開演中は全国からおいでになった皆さんのお世話をしたような気がします。

そして今度の3回目です。3回目とはいえ時代が進歩しているのですからその時代と事情に合ったやり方で実行すべきだと思いますので新たな気持ちで役目にあたっています。新しいホール（待望の岡山シンフォニーホール）で新たな気持ちで頑張りたいと思います。

今、準備にかかっていますことは

- (1) 審査員が気持ち良く審査できるように色々な面で気をつけていきます。
- (2) 接待部との連携プレイも大切ですし、演出部や進行部との連携プレイも忘れてはならないことです。
- (3) 全国から出場するために集まってくる合唱団の皆さんから審査用の楽譜をあづかるのも私達の役目です。
- (4) とにかく前日の出演者打ち合わせ会議から最後の閉会式まで各部の方々と協力しあって気持ち良く終われたら………と思っています。そのためにこれからもっと細部にわたって考え、準備をしていこうと思っています。

県連役員表

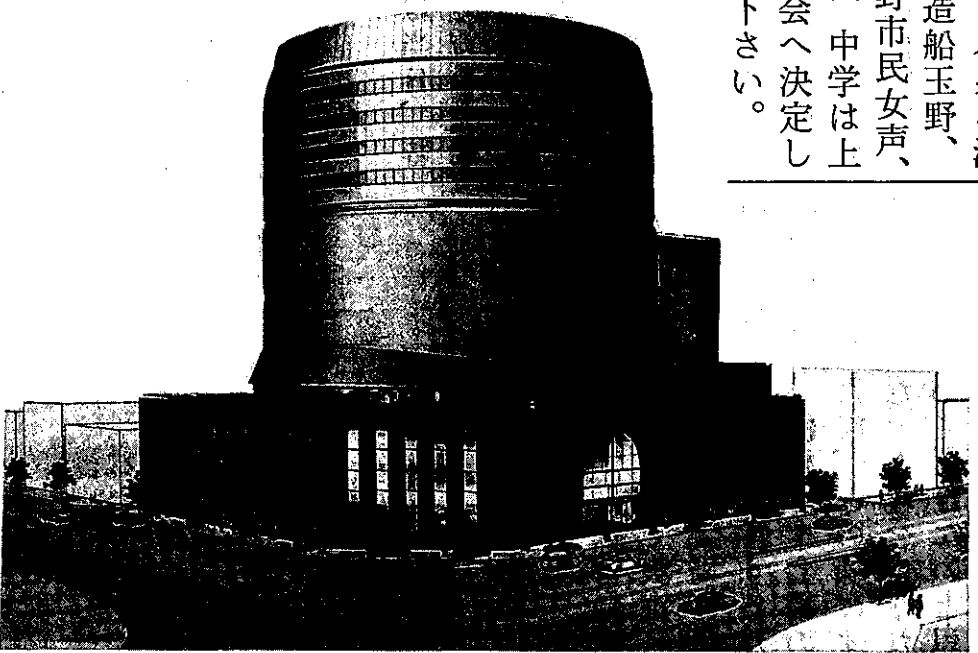
実行委員

総務部	部長	玉垣夫規子	(岡山県合唱連盟事務局長)
	次長	内田 毅	(文化センター合唱団)
		鈴木 悦子	(コール一宮)
会場部	部長	森脇 英樹	(岡山混声合唱団)
	次長	柴田 公平	(いずみの森合唱団)
		野口 紀生	(倉敷市民合唱団)
進行部	部長	井内 修	(岡山市民合唱団鷺羽)
	次長	中村 芳弘	(山陽女子高校コーラス部)
		前田雄一郎	(岡山大学グリークラブ)
演出部	部長	田中 浩	(倉敷コール・クライネ)
	次長	草加 洋江	(あげぼのコーラス)
		白神 裕子	(県立倉敷中央高校合唱部)
審査部	部長	片山 康雄	(岡山混声合唱団)
	次長	丸池 和男	(コールたかはし)
		山本まさみ	(瀬戸内混声合唱団)
接待部	部長	増田 脩子	(女声合唱団岡山なでしこ)
	次長	長尾 節子	(夕なぎコーラス)
		内海美和子	(コール・ピクルス)
会計部	部長	内田 毅	(文化センター合唱団)
	次長	坂本 博明	(三井造船玉野合唱団)
		柴田由起子	(旭川荘ゆずり葉合唱団)
練習会場 宿泊部	部長	難波	(JTB岡山支店)
	次長	柿本 幸徳	(岡山県教育庁指導課)
		上月 明	(岡山市教委指導課)



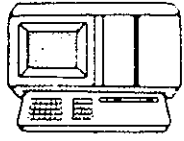
岡山県合唱コンクールは、さる八月二十五日市民文化ホールに於いて十二団体(中学含む)の参加で開催され中国大会へ進出は山陽女子高校、倉敷中央高校、(A)、玉島

高校(B)、ノートルダム清心女子大学、三井造船玉野、岡山なでしこ、玉野市民女声、岡山混声、の各団、中学は上道中学校が全国大会へ決定しました。頑張ってください。

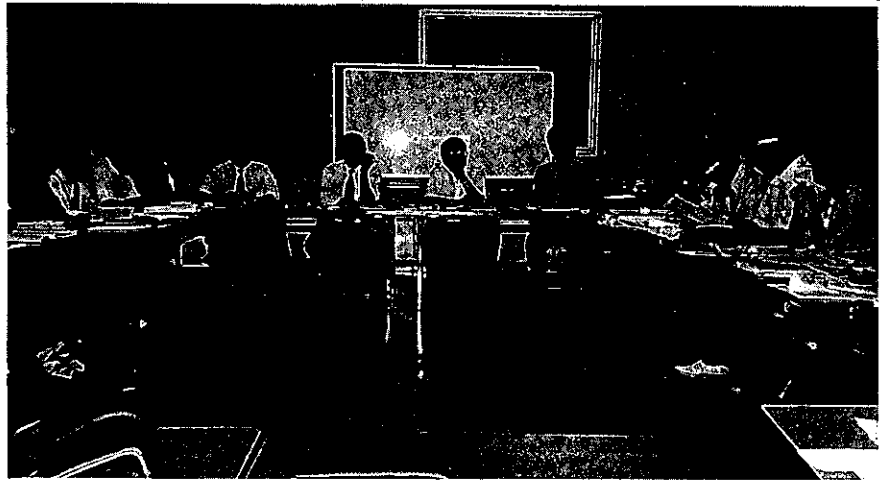


全日本合唱コンクール岡山大会に向けて活動する

総務部・各々のセクションへの指示、会議日程の決定、連絡、開催実績調査、予算組み、全日本事務局と各種調整連絡と、とにかくいそがしい毎日となって居ます。予算等はほぼ完了、現在は参加要項、プログラムデザイン決定印刷準備等に入り、ほとんど休む事なくなんらかの作業が入っている、参加要項、プログラムもデザイン決定も終りに近づき、プログラム掲載広告依頼も多くの協賛を得て立派なプログラムになる予定です。又各部門へのアピールも随時行ない活動に停滞の起る事がない様協力していただいで居ります。今後は開催当日を想定しての各種検討に入るところとなり、各部門の役員の方、運営補助者の方々の準備の方よろしく、不明の点はよく確認して各自、当日の活動がうまく出来る様準備して下さい。



会計部・総務とコミュニケーションを取りながら、受付集金、集計等を検討して行っています。よろしくご協力下さい。



会場部・4月に役員概要が決定、四月二十七日に第一回の打ち合わせ以来今日まで順次難問に取り組んで来て居ります。何が難問かと申しますと受付から会場内外へ人員を配置して参加する人、一般の人の整理を行なう訳ですから、又全国大会は二十二日より二十四日まで三日間ある訳です。したがって人員も一日八十人必要としますと、二百四十人の補助員数を確保しなければなりません、ですから人員の確保がまず第一の難問、

そのため人員配置の合理化を考えて来ました。次に各ポジションの仕事内容を決めて行って居ります。人が替わっても出来る様マニュアルを作る予定です。ともあれ一番リスクの大きい部門だと思えます。現在のところ有能な役員さんのおかげで順調に計画は進んでいます。

接待部・わたくしたちは、審査の先生方を裏の方でリラックスしていただく役です。で何よりも岡山の味、と心に気を付けて先生方に接したいと思っ居ります。

進行部・コンクールまで、残り少なくなりました。私達はコンクールの成否を決定する役割りです。準備は次第に現実性を帯びて居ります。誘導用のプラカード、小物、備品等必要品の拾い出しを終えました。誘導の手順造りを完了しました。後は当日スムーズに誘導が出来るかどうかは補助員の方々個々の手順マスターに掛って居ります。たいへんですがお互い頑張りましょう。

演出部・開会、閉会の手順表彰の種類と数の確認を終りました。過去の賞の数は年により多少差がありましたので今年も予備が必要ではないかと、総務を交じて検討しています。又ステージ上のイベントの様子、人員等の想定も進んで居ります。コンクール当日の成功を信じて準備万端整えて待ちたいですね。



審査部・私どもは当日、審査に来岡される先生方の会場でのお手伝いですのであくまでも感じよく先生方に接して行きたいと思っ居ります。先生の数等、総務に教えていただきつつ勉強しながら当日を迎える事になるでしょう。とにかく何年に一度の折角の岡山での大会ですから、お帰りの時、あー！岡山ってすばらしかった、と言ってほしいですね。



練習会場・宿泊部・宿泊の方はJTBの協力でパンフレット他作成中です、練習会場は岡山市の協力を得て決定しました。今後は練習会場の使用を当日の様に運営するか検討中です。例えば本会場の進行が遅れた時、どの様にするか、早くなった場合は？など対策を決めて置きたいと思っ居ります。